

地域の健康づくりを進めるために

3/25

地域の健康福祉に向けた連携の協定を交わしました



山本常務取締役(右)と園田町長(左)

町と中北薬品株式会社は、「災害発生時等における物資の供給並びに地域の健康づくり、福祉の推進に向けた相互連携に関する協定」を結びました。

具体的な連携・協力事項としては、災害発生時における医薬品等の物資の供給支援に関する事、平時における健康づくりに関する事、食育に関する事、管理栄養士によるセミナー等、高齢者・子ども等の支援に関する事、感染症予防活動に関する事、その他目的達成に寄与する活動を共に進めていくことです。

町長は「災害対応を含め町民の健康増進について、今後、連携体制の下で協力をお願いしたい」とあいさつしました。

即興コメディで大笑い

3/10

ロクディムによる公演が行われました

文化会館で、即興芝居×即興コメディパフォーマンス集団として全国で活動する「ロクディム」が公演を行いました。「この瞬間を一緒に笑おう」をキーワードに、観客と一緒に「今、ここ」を「つくり」「たのしみ」「共感・体験・大笑い」することを目的としています。

公演の特徴は、台本や筋書きなどが一切無く、観客の指定するキーワードから想像を広げ、言葉と演技で物語を作り披露することです。始めに観客に一人1枚ランダムな質問（大切な人に伝えたいメッセージなど）が書かれた紙が配られます。それを全てステージ上にばら撒き、演劇を行う中で紙を拾いながら、そこに書かれている（観客の書いた）言葉がそのままセリフになるという予測不能のエンターテインメント公演となりました。

公演後は、ロクディムとのトークスペースが設けられ、メンバーと来場者が対話をしながら交流を深めていました。

また、公演に先立ち、川根高校で高校生と地域住民を交えたロクディムによるワークショップが開催されました。

メンバー代表の「カタヨセヒロシ」さんは、「台本がないからこそ気持ちや思ったことを自由に表現できる。学生の頃はなんとなくルールや校則など大人の敷いたレールの上で生活しているが、自分の可能性は自分で気づいて自由に表現できるんだということを知ってほしい」と話しました。



川根高校でのワークショップの様子



文化会館で公演を行うロクディム



公演終了後の交流会の様子

バスケットボールの力で地域を元気に

2/26

ベルテックス静岡とパートナーシップ協定の締結を交わしました

町は、プロバスケットボールチーム「ベルテックス静岡」を運営する(株)VELTEXスポーツエンタープライズ(静岡市)と、「バスケットボールを通じたスポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりを目的にパートナーシップ協定」を締結しました。

役場本庁で開かれた締結式で、松永康太社長は「大自然を活かした連携で、バスケットボール熱を高めたい」と話し、町長は「子どもたちに夢を持ってもらい、チャレンジするきっかけになれば」とあいさつしました。

今後、Bリーグのホームゲーム町民招待をはじめ、町内の義務教育学校などにおいてバスケットボール教室を開催する予定です。



松永社長(中央左)と藺田町長(中央右)

卓球を通じたまちづくりを目指して

2/27

静岡ジェードとパートナーシップ協定の締結を交わしました



河村代表取締役(左)と藺田町長(右)

町は、卓球Tリーグ所属の「静岡ジェード」を運営する静岡オクシズUU(株)(静岡市)と、「卓球を通じたスポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりを目的に、パートナーシップ協定」を締結しました。

河村水稀代表取締役は「今後は子どもの育成を含めたスポーツ振興を進めながら、川根本町でしかできない取組など、新しいことにもチャレンジしていきたい」と話し、町長は「オクシズは町のすぐ隣。今後も多くの交流を通して、地域振興を目指していきたい」とあいさつしました。

今後、健康卓球教室などをはじめ、町内の義務教育学校などにおいて卓球教室を開催する予定です。

音楽が告げる春の訪れ

3/24

スプリングコンサート2024が開催されました

文化会館で、住民有志の団体「ドリームアイランド」主催のスプリングコンサートが開催されました。町内の音楽教室などに通う小・中学生が日頃の練習の成果を発表する場として毎年行われているので、今年で30回目を迎えました。

出演者は総勢21名で、ピアノ、エレクトーン、カホンを次々と演奏し、思い入れのある楽曲を緊張しながらも精一杯披露しました。歴史あるコンサートだけに、かつて自分が出演した同じ舞台に立つ我が子を、感慨深く客席で見守る保護者の姿もありました。聴く人を温かい気持ちにさせる演奏の数々に、会場からは歓声と拍手が送られました。



スプリングコンサートに参加した子どもたち